

（透明性枠組み）

- COP26で透明性枠組み（パリ協定の締約国による報告制度における、報告フォーマット等）に関する議論を終了させる予定だが、作業に遅れ。統一的な報告フォーマットを不要とする一部途上国が、会期間のワークショップの開催を拒否。

（共通タイムフレーム）

- NDCの期間を5年、10年、5年or10年とするオプションにほぼ限られている。

（長期（気温）目標等に関するレビュー）

- パリ協定に位置づけられているグローバル・ストックテイク（2023年予定）との重複等の懸念があるため、COP30（2024年）に定期レビューの可否について再検討が決定。

（資金）

- 長期資金議題の2021年(COP27)以降の継続についてはCOP26で継続審議。COP26ではハイレベル閣僚級対話が予定(隔年開催)。
- 適応基金理事会のメンバーシップ構成について再検討。